

# どげんなった？

議会報告会の評価	割合
①良かった	31%
②どちらかと言えば良かった	21%
③普通だった	31%
④どちらかと言えば悪かった	10%
⑤悪かった	7%

地区別参加者数	人数
中山地区	20
名和地区	27
大山地区	26
合計	73

アンケート回収率40% (29人)

## 住民の参画

### 〔参加者の声〕

山香荘の活用方策や水道料金統一問題等、町民に深く関わる施策で、住民が行政に参画する機会が少ない。町民の声を聞く場づくりや、制度の創設を。

### 〔町長〕

町が行う施策や事業は、必要に応じ、説明・意見交換の場を設けている。年2回の区長会、町長の集落行政懇談会、事業説明・意見交換会などを行い、住民参画の機会は設けている。参加者が少ない時もあり、制度が浸透していない面もある。

## 事業仕分け

### 〔参加者の声〕

財政運営が、ますます厳しくなっていく中、行財政改革として、平成23年度予算編成にあたり、事業仕分け制度を導入し、各種事務事業の点検と精査を。

### 〔町長〕

国の事業仕分けの手法は、色々と議論されており、直接住民との関わりがある町行政には、適していないと考えている。行財政改革は審議会からの答申をもとに、成果をあげる事が重要。事業の精査は、議会や監査委員により厳しく行われていると考えている。

## 大山診療所

### 〔参加者の声〕

大山診療所の2階部分は、改装が検討されているが、慎重に最終判断をするべき。

### 〔町長〕

介護施設として活用することが現実的。町内の地域密着型サービス事業者から提案を募集し、審査の結果、「大山やすらぎの里」と賃貸契約を結んだ。決断までには、入院の受け入れ再開等を検討したが、いずれのケースも医師の確保が問題。この活用策によって、現有機能を生かし、地域住民のニーズを受け止める施設になると考える。